

## 提言整理表

資料－２

	発言要旨	発言者	提言
提言 1 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成について	新エネルギー関連産業の経済効果がどれ位県にどれもたらされているか、しっかりと検証する必要があるのではないか。また、経済効果を測るうえで、発電量以外の指標が必要なのではないか。	喜藤部会長	1－1
提言 2 イノベーションの推進による産業振興について	秋田市以外の地域では情報インフラの整備が十分でないという声が聞かれている。地域格差が生じないよう、情報インフラの整備に向けた取組が必要ではないか。	阿部委員	2－1
	デジタルイノベーションに取り組んでいる企業がどれ位いて、どのようなメリットを享受しているか、効果の「見える化」が図られれば、実際に取り組む企業がもっと増えるのではないか。	東海林委員	2－1
	IOT・AI等の先進技術の導入の遅れにより、ビジネスチャンス等で遅れをとる企業も出てくる。IOT・AI導入のメリットや効果が可視化できれば、新たに導入を考える企業が出てくるのではないか。	阿部委員	2－1
	情報インフラの拠点を整備することで「見える化」が図られると、若い人達も集まり、地域活性化が図られるのではないか。	東海林委員	2－2
	プログラミングやシステム構築に関する経験を積むだけでなく、企業全体を見渡し適切な経営判断ができるような人材を育成する取組が必要ではないか。	真田部会長代理	2－2
	次世代の中核人材を育てるために、小中高生を巻き込んだ取組があると良いのではないか。	阿部委員	2－2
	先進技術の活用を促進するには、核となる人が地域にいないと厳しいのではないか。	喜藤部会長	2－2
提言 3 中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上について	県内企業は自社努力によって、新型コロナウイルス感染症の危機的状況を乗り切ろうとしている。県にはきめ細やかな支援体制を整備していただきたい。	阿部委員	3－1
	伝統工芸品や食品製造業については、良い物を作っても出口がしっかりしていないと経営が成り立たない。一連のサプライチェーンを整備することが必要だと思う。	喜藤部会長	3－1
	以前、ある機関に食品関係のアイデアを相談した際、門前払いのような扱いをされたことがある。マッチング、つなぐという視点を大切にするような相談体制を整備してほしい。	阿部委員	3－1
	女性を経営者として育成するような教育システムの構築が必要ではないか。	阿部委員	3－2

	発言要旨	発言者	提言
提言 4 国内外の成長市場の 取り込みと投資の促進 について	コロナ禍においても、海外の成長市場の取り込みは重要だが、スケジュールをどう練り直していくかを確認した方が良い。	喜藤部会長	4-1
	生産拠点の国内回帰については、秋田にゆかりのない企業をどのように誘致するか、秋田の魅力の伝え方が大切だと思う。	喜藤部会長	4-2
	リモートワークをしやすい環境を秋田で作上げていけば、企業のローカル拠点ができるのではないかな。	喜藤部会長	4-2
	秋田になかなか戻らない理由として、給料が低い、面白い仕事がないということがあると思う。ある程度給料が低くても人が集まってくるような「楽しさ」を作り出すことが必要である。例えば、大手企業を県内に誘致して、その企業とともに働きたいと思うような「楽しさ」を作り上げていくことが大切だと思う。	喜藤部会長	4-2
提言 5 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備について	女性の活躍を推進している企業をもっとアピールすべきではないか。	喜藤部会長	5-1